

格付け

格付けは「A-」（シングルAマイナス）

格付けは、企業が発行する債券などの元金および利息の支払いが、約定どおり履行される確実性の度合いを公正な第三者である格付機関が評価し、その結果を記号で表したものです。当行は日本格付研究所の格付け（注）を取得しており、20ランク中上位から7番目となる「A-」（シングルAマイナス）の良好な評価を得ています。

格付けの定義



（注）格付けは、「AAA」から「D」までの10段階です。「AA」から「B」までの格付けには、同一等級内での相対的評価として、（+）（-）の符号による区分があります。その符号も含めてランク付けした場合、格付けは20ランクに区分されます。

開示債権

開示額、開示債権比率とも上昇

将来の環境変化や今後の取引先の事業再生にかかるコストに前もって備えるため、積極的に不良債権処理を実施したことから、金融再生法に基づく開示債権額は、前年同期比159億円増加し1,151億円となりました。開示債権比率は前年同期比1.81ポイント上昇し10.49%となりました。なお、平成18年3月の開示債権比率は、不良債権の最終処理を加速することから、7%台を見込んでいます。

金融再生法開示債権の推移



平成17年度業績予想

当期純利益9億円を予想

平成17年度の業績については、中期経営計画「Leap 2005」に掲げる諸施策を大胆に進めることにより、9億円の当期純利益を予想しています。

平成17年度業績予想

	17年度予想	16年度実績	増減額
経常収益	482	448	34
経常利益	5	80	△75
当期純利益	9	58	△49

単位: 億円